

令和5年8月2日

川西市議会議長 様

会派(呼称)名 連合かわにし市民の会

議員名 岡 留美

※議員名欄は署名又は記名

管 外 調 査 報 告 書

このたび、管外調査をいたしましたので、その概要を下記のとおりお届けいたします。

記

- | | | | | |
|---|---------|---------------------------|-------------|------|
| 1 | 調査者氏名 | 市民ファーストかわにし
連合かわにし市民の会 | 斯波康晴
岡留美 | 加茂文子 |
| 2 | 調査先 | 伊丹市立子ども発達支援センター「あすぱる」 | | |
| 3 | 調査期間 | 令和5年7月11日 | | |
| 4 | 調査結果の概要 | | | |

(伊丹市出席者)

市議会事務局議事課 村上愛子課長
教育委員会事務局子ども未来部 幼児教育保育室 藤井裕作室長
教育委員会事務局子ども未来部 幼児教育保育室 子ども発達支援センター
藤田美岐所長

説明は主に、藤田所長にして頂き、質疑等にも丁寧にご対応頂きました。

「あすぱる」は障がいの種別に関わらず、保健・医療・福祉・教育の各分野が協力して総合的で一貫した支援やサービスを提供することを目指しており、現施設は平成28年に、それまでのサービス支援施設等を統合、再編し、設置された。発達に支援を要する子どもの成長を支えるネットワークの中核施設として、乳幼児期から学齢期、青少年期と継続して発達支援を行う。

施設は、交流と相談のエリア（1階）、保育と生活のエリア（2、3階）、医療のエリア（5階）からなり、職員構成には、社会福祉士、心理療法士、保健師、看護師、嘱託医等の専門職が多数、配置されている。

専門職がほぼ常時配置で、専門職を含めた職員が連携を取りやすい仕組みの施設を設置済みの、同様の施設はまだ、県下にも近隣にも多くはないと思われるが川西市でもこのような総合的で一貫的に支援する体制整備が、支援を必要とする子どもを地域ぐるみでしっかりと育み、保護者等を支えるためには、直ぐにでも必要ではないかと感じた。

説明を受けた後、施設内を案内して頂き、子ども達の様々な学びの様子を見学。暑い日だったので、水遊びに興じる子ども達を見守り、支える職員の皆さんの奮闘も拝見させて頂いた。

子ども達の人懐っこさと笑顔、親子で訪れておられた方の、安心した様子等が印象的で、当市での施策の充実に繋げたいと思う調査となりました。